

平成29年8月4日

広報広聴委員会

阿久根市議会

- 1 会 議 名 広報広聴委員会
- 2 日 時 平成29年8月4日（金） 13時34分開会
15時16分散会
- 3 場 所 第2委員会室
- 4 出席委員 白石純一委員長、渡辺久治副委員長、西田数市委員、
竹原信一委員、仮屋園一徳委員（遅参）、濱崎國治委員
- 5 事務局職員 議事係 大漣 昭裕
- 6 会議に付した事件
 - ・議会だより194号（8月15日発刊）について
 - ・議会だより195号（11月15日発刊）について
 - ・議員と語る会について
 - ・その他
- 7 議事の経過概要 別紙のとおり

審査の経過概要

白石純一委員長

ただいまから、広報広聴委員会を開会いたします。

本日の委員会は、お手元に配布しましたレジュメに沿って進めたいと思います。

議会広報誌の編集に関する委員会記録については決定事項のみの要点記録としたいと思いますので御了承ください。

竹原信一委員

物事を記録するというのはですね、要点記録というのはいり方なだけで、やっぱり書く人の主観が入るようでは記録としての価値はないんですよ。ですから、記録する場合も発言したことを書かなきゃいけない。まとめて本人の概略みたいな形でやっちゃいけないわけですよ。それしないと、二流、三流の記録にしかならない。ですから、記録はちゃんと発言した内容を、結論に導かれるような内容を含めてですけれども反論も含めて発言した内容を書くということは心掛けていただきたい。

白石純一委員長

事務局で記録を起こして、私のほうでもチェックしておりますので、その点については十分注意したいと思います。

仮屋園委員からは欠席の届け出がございました。(遅参出席)

それでは協議に入ります。

◎議会だより194号(8月15日発刊)について

白石純一委員長

議会だよりについて、194号、8月15日発行のものですが、竹原信一委員から案が出ています。原稿については今、空欄になっている部分の案をいただいておりますので配付いたします。

(資料配付)

竹原信一議員の一般質問のイラストについて協議をお願いします。

竹原信一委員

写真を使っちゃいけないという議論自体にちょっと疑問を持っているわけですよ。進めるためにいいでしょうとイラストに変えましょうと言いましたけども、これは個人、あるいは業者が撮った写真ではなくて、一般公開された写真ですよ。これについて所有権だの肖像権とかいうものはもともとありえないですね。皆さんの御意見もございましたのでイラストを描きました。それが前回の皆さんの結論でしたのでそれにあわせて書いたものであります、一応。ちょっとこれがおかしいとは思っておりますけどもね。

白石純一委員長

各委員の御意見をお聞かせください。

濱崎國治委員

竹原委員の今の意見はどうかと思いますよ。写真を使ってはいけないというのは、両方が理解してそれをすればいいでしょうけれども、竹原委員の一方的な質問に基づいてしたというのについては、私はとてもじゃないですけどもあなたの個人の議会報告会には私どもの口を挟むところではないですけども、広報広聴委員会としては今の発言はちょっと私は賛成できません。

竹原信一委員

物事を決まるというものの基本の形というのはいり方なだけで、ルールを決める、それに沿っ

たところでどうかということと言わなきゃいけない。法のルールですね。それを後から決まりを取りつけて、いいの悪いのというのを持ち込むようじゃ、本来の議会のあり方、それを損なうということになりますよ。

濱崎國治委員

法律の問題じゃないですよ。編集の問題ですよ。

竹原信一委員

編集の問題ではなくて、基本の形ですよ。この国及び社会のあり方。それに関わっているのが議会のはずですよ。編集だから社会の基本的なあり方と違っていいんだというのはいけませんよ。そういったことを曲げてしまうようでは根幹を揺るがしてしまいます。

濱崎國治委員

竹原委員は基本的な議会の問題だとおっしゃいますけれども、これこそ議会の基本的な問題だと私は思いますよ。

竹原信一委員

今のこの議論というのは大変大事な感じがしますね。それぞれが自分の見解を述べる。全体の空気を読んだり何だりしないで、そして議論を突き詰めていくという形というのはとっても大事なんですよ。だから、一般質問自体もいろんな考え方があって、それを発表する場でございますので、発表したものについてこれは載せるべきであるかないかという話をですね、多数決で決めてしまうような話ではないはずなんです。それと違ってしまえば、発言したものと違うならば、あるいはそれを発言したものと違うイラストを載せてしまったのならともかくとして、これが表現、言葉をわかりやすく表現する方法として私がこれを採用したものであります。そしてこれを禁止するというのであれば、そういう話というのは前もってしとかなきゃいけないのであって、案を出させる前にしとかなきゃいけないのに、出してしまってからですね、こういうのは出すべきではないとか何とかというのはその次からの話にするべきなんです。

濱崎國治委員

出してみないとわからんじゃないですか。

竹原信一委員

ですからね、社会のルールの在り方というのはそういうものなんです。社会を動かしてみたらじゃわからないじゃないかと。動いてしまってからじゃあこれはいかんよと言ってとめるのでは法のルールに従ったことにはならないんですよ。ルールを先に決めて、順番を逆にしちゃいかんですよ。

白石純一委員長

私の意見として、やはり確かにルールはできるだけ決めたほうがいいと思うんですが、なかなか全てを網羅するルールというのはなかなか決められない部分もあるので、やはり出てきたもので是非かという判断をするのは仕方ないのかなとは思いますが。

竹原信一委員

そういったことがマナー違反ですよ、そもそもが。最初から言いましたけど、失礼な話ですよ、はっきり言って。それぞれの議員に出させといて、こっちでルールを後で決めて変えさせるというのは。

白石純一委員長

ほかに。

濱崎國治委員

それが編集の立場じゃないですか。ルール違反とかそういうのではなくて、あなたの提出したのがどうも阿久根の議会だよりとしてはふさわしくないという意見が、私は持っているものですから、これについてはどうかなという。

白石純一委員長

竹原委員、おっしゃることは大体わかりました。濱崎委員のおっしゃることもわかりました。西田委員、渡辺委員からどうぞでしょう。

渡辺久治委員

議会だよりとして出す以上は、総意はある程度必要になってくると思います。

西田数市委員

私も渡辺委員と一緒にんだけど、写真をイラストに変えたんだけど、あまりにも似すぎて、違うイラストがあればそれでよかったと思うんですけど。

竹原信一委員

これは、私は何て書いてます、最初の文章の内容が。その内容に合ったイラストでございませうよ。

白石純一委員長

確かに竹原委員は二人羽織のことは発言されましたけれども、これに関して、二人羽織のことについて市からの答弁はなかったんですね。したがって、竹原委員は質問もされてないんですね、二人羽織については。個人の御意見としてはおっしゃってますけれども。政治というのは二人羽織だという趣旨はおっしゃってますけれども、市の状況はどうかという質問はなされていない。したがって答弁もなされていない。ここに絵がある施政方針については竹原委員が質問をされて、職員が考えたものを市長が話しただけじゃないかという趣旨の質問に対して市長は自分で考えて発表しましたと言ってますので、この絵が示すことと質問、答弁の内容が食い違っているというふうにも言えます。

もう一つ、下に答弁心得帖というものがありますけれども、これも竹原議員がおっしゃったのは議会事務局にあってこういう内容が書かれていましたということはおっしゃってます。ただし、市長、あるいは市執行部がこれに基づいて話したという事実関係は確認されていないですね。その答弁もなかった。したがってこの施政方針を二人羽織のようにして発表した、あるいは答弁心得帖を手元に置いて施政方針を発表した、あるいは答弁したというような一般質問の内容と異なっているということは問題かなと私は思います。

竹原信一委員

一般質問の内容とは異なっていないというのは、前回の委員会の際に確認しましたよね。一般質問の内容とは異なっていないわけです、絵の内容はですね。それからですね、答弁とのかみ合いの話は、いつもある話ですよ、あなたのやつもそうだし、日ごろのやつも。例えば、他の質問も名前をぱっと並べることも答弁の中で出てないわけですから。私のここの文章に限ってだけその話を持ってくるというのはおかしいんじゃないですか。

白石純一委員長

今、委員がおっしゃった内容がちょっと把握できない。

竹原信一委員

例えば、他の質問とかこういう事項とか名前が書いてあるじゃないですか。こういったことというのでも答弁がないわけですよ、これには。

白石純一委員長

実際、答弁はありました。

竹原信一委員

ありましたって、書かれてないものを文章にするじゃない。だから、私は書いてあるものを、しかも言ったものを書いたわけですよ。こういうふうには、そのときそのときで載せるものを変えていくというのはおかしいんじゃないのって話ですよ。

白石純一委員長

私の趣旨はですね、質問をして、市が答弁をしたその対象をどういう内容について質

疑があって答弁がなされたかということで一般質問で市民に知らしめることは必要であって、議員がおっしゃったことで質問になっていないことについては、実際、質疑応答がなされなかったわけですから、一般質問として一方的に議員が私はこう思いますということだけを載せるのは一般質問をここで紹介する趣旨にそぐわないじゃないかなと。

竹原信一委員

その話はですね、これを出す以前の話。議員全員に対してですよ。同意を得た上で、決めた上での話にしなきゃいけないことなんですよ。それを特別にこれだけ持つてくるという話にしたらいけませんよ。

白石純一委員長

やはり一般質問として載せるわけですから、執行部に質問をして、質問にもなっていないわけですから、この二人羽織は。したがって、質問になっていないことをおっしゃったことを市は一切答弁されてないので、それを質疑応答の対象になっていなかったものを本来は載せるべきではないと。

竹原信一委員

多分議論に対する理解力の問題かなという気がするんですよ。というのはどういうことかということ、その議員自身がどのような、あるいは市長がどのような背景で答弁をしているのかということの理解を進める方法としてこれを入れたわけです。それは表現の内容の背景になるわけですね。だから（聴取不能）言っちゃいけないとことではいけませんよ。重要な部分なんですよ。市長の答弁がどんな構造になってるかつちゅうのを皆さんに知ってもらうということも議論の重要な機能ですからね。市長自身も市政の状況を皆さんにわかりやすく知ってもらうために一般質問に答弁しておりますという言葉も発言しております。

渡辺久治委員

このイラストを見る限りですね、これは執行部が施政方針を考えて市長がそれを発表するというふうに見られてしまうから、これは多分執行部の了解を得られないでしょう。であって、私はある程度、議会の執行部と市長の関係は二人羽織というのはあるというのは認めますよ。そういういろんなケース的なことは執行部に一任してあるという部分で二人羽織というのは言えますけれども、この部分は施政方針を執行部が考えたとなってしまうと、これは市長の意に反するからこの部分は違う一般の二人羽織のイラストに変えたらいいんじゃないですか。

竹原信一委員

渡辺議員、一番言っちゃいけないことなんですよ、それは。例えば市長の意思に反することを議会側がやっちゃいけないというような話はですね、

（発言する者あり）

本来は、議会と執行部というかな、執行部という言い方は実は間違っていると思いますよ。

（発言する者ある）

対峙するべき立場であって、合意の上で議論を、絵をつくるというのはですね、本来やっちゃいかんわけなんですよ。談合です、こんなことしたら。

（発言する者ある）

渡辺久治議員

これを見る限り、市の市長以外の人間が考えた施政方針を市長が代読しているふうに見えてしまうということです、これは。それはわかります。それは市長の了解がなければ出せないでしょう。それだけです。

（発言する者あり）

白石純一委員長

それについては、質問されました。施政方針は職員が考えて市長がそれを読んだだけ

ではないかという趣旨の質問に対して市長は自分で考えて話しましたと答弁してまですので、それは竹原委員がおっしゃったのと違う。

(発言する者複数あり)

そろそろ皆さんの意見が出そろったと思います。

(発言する者複数あり)

白石純一委員長

ちょっと休憩します。

(休憩 14:00～14:03)

白石純一委員長

休憩前に戻ります。

各委員の意見は十分聞けたと思いますので、この竹原議員が提出されたこのイラストについて適切か不適切か決をとりたいと思います。

(発言する者あり)

それではこのイラストを使うことが適切だと思う方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

(発言する者あり)

このイラストについては不適切だということの結論に至りました。

これを空欄にするのか、代わりに何か入れるのかということで、竹原委員に新たなものを出していただく時間が、きょうが最後ですので、時間がないので、これに代わる二人羽織を示すものがないかちょっと議会事務局と見てみたんですけれども。

(資料配付)

(発言する者あり)

空欄にするということも一つの考え方だと思いますが、編集方針として写真・イラストを入れることで読者が少しでも見てくれるという方針もあることは考えていただきたいと思います。

濱崎國治委員

私はこれだったら理解できるなと思います。

渡辺久治委員

これでいいと思います。

(発言する者あり)

白石純一委員長

空欄にするよりは、このイラストを入れるということによろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

では、御異議なしと認めそのように決しました。

説明は何としますか。二人羽織。

竹原信一委員

私のイラストの後ろのほうに二人羽織の文字があるから、これでもコピーしてでも使って。

白石純一委員長

わかりました。

それでは今回の修正については校正し、提出したいと思います。校正後の確認については委員長に御一任願いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認め、そのように決しました。

それでは次の内容に移ります。

◎議会だより195号（11月15日発刊）について

白石純一委員長

195号、次号の担当を確認したいと思います。

総括（白石委員長）

委員会報告（各委員長）

討論（竹原委員）

陳情等（白石委員長）

議員広報研修会（濱崎委員）

編集後記（西田委員）

一般質問（一般質問者）

◎議員と語る会について

白石純一委員長

次に議員と語る会でございますが、前回決定事項についてはレジュメをごらんください。

（発言する者あり）

5分間、休憩に入ります。

（休憩 14：32～14：37）

白石純一委員長

休憩前に引き続き会議に戻ります。

議員と語る会については、レジュメをごらんください。前回決定事項のとおりです。

二つ目の日曜開催、報告内容や意見交換のテーマについては他の議員からも全員協議会でさまざまな御意見が出ましたので、ただし日曜開催については一任されるということでしたので、皆さんに確認したいと思います。

日曜開催を行うことに対しての御意見をお聞かせください。

竹原信一委員

やっていいと思います。

白石純一委員長

では、他の議員からも任せるということでしたので、日曜開催については御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは日曜開催は行うこととしたいと思います。

（発言する者あり）

日にちがですね、23日から31日までで、

（発言する者あり）

休憩に入ります。

（休憩 14：40～14：45）

白石純一委員長

休憩前に引き続き会議に戻ります。

それでは開催日については、22からの日、月、火、水で、もちろん場所の都合によってはその後に変更するという御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、そのように決しました。

会場は前回の会場でいいのか、あるいは変えたほうがいいのかお聞かせください。

(発言する者あり)

確実に去年と変わるのは阿久根駅をどこにするかということだけ決めたいと思います。

次にアンケートについてですが、委員の意見を伺います。

アンケートについてはこれまで当日はもちろんアンケートをしておりましたが、事前にやるかということを含めて考えをお聞かせください。

竹原信一委員

アンケートを前もって出して集めて、それを検討して委員会を開いてということじゃない。そういう方向。

白石純一委員長

そうです。

竹原信一委員

議員と語る会以前に来たアンケートに対して検討会みたいな議論をするわけ。

白石純一委員長

そうです。

濱崎國治委員

全部をやればあれだから、もし事前アンケートをとるんだったら区長等にだけ事前アンケートをしたほうがいいんじゃないですかね。ほかの一般市民にすれば回収法とかいえるんなのでまた。

白石純一委員長

それを曾於市がやってまして、それは事前に、多分、一カ月か二カ月前の広報誌に恐らく入れて配ってFAXやメールで出してもらおう。

濱崎國治委員

だからFAXやメールは一般的じゃないから、もう区長だけ。

白石純一委員長

もちろん郵送もあったと思います。

(発言する者あり)

では事前アンケートはなしでよろしいですか。

(発言する者あり)

濱崎國治委員

するんだったら区長等だけ。

白石純一委員長

区長に対してはいかがでしょうか。事前アンケート。

(発言する者あり)

竹原信一委員

これが有効なのかどうかっていうのは、感覚的にはどうですか。

白石純一委員長

それこそ区長に、その場所の何を直してくれという、

(発言する者あり)

仮屋園一徳委員

前した要望等があれば出してくださいだから、要望があるところはどんどん要望をされてるし、何もないところは提出されないと思う。要望があるところは出してもらおう。

白石純一委員長

前もしてたんですか。

仮屋園一徳委員

前してた。下村からたくさん出てきて、

(発言する者あり)

部分的じゃなくて、大川島もきとったし、ただ全員が出されるとは限らないわけよ。ある人は出してくださいと。

白石純一委員長

きょう恵美議員がおっしゃったのは、自主的にある市民が出したと。

(発言する者あり)

アンケートについて区長に何か聞きますか。

竹原信一委員

例えば、下村の区長が出してきたという、そういったことというのはですね、議員と語る会のとときに改めて議論するような話じゃなくて、日ごろからもらって私たちが把握しとくべき内容なんですよ。だから、これにかけてという、どうしてそのとき出るかという、日ごろから議会が答えてないという感覚があるからこの機会にということを出すわけですよ。ですから、その意見を日ごろから受け入れる窓口をちゃんとやりましょうよというのが私たちがとるべき態度じゃないでしょうか。そして今回の議員と語る会のとときには、もう少し広いテーマというかな、地域の要望を受け取る話じゃなくて、もう少し全体的なことを一緒に考えましょうという話にならないと、やっぱり本質的な、私たちの阿久根ですという感覚の深まりにつながらないんじゃないかな。

白石純一委員長

確かに、議会として市民と語りたいことをやはりまず持っていて、それがなければ聞いてもいいと思うんですよ。

仮屋園一徳委員

いえば、前もってそういう問題を出しとってもらえば、行って回答ができないよりもその前にそういうのについては各課に一応聞いてから行くので、ある程度回答ができるからということで、そういうことで前もって出してもらったほうがいい。いいか悪いかは別にして、内容的にはそういうこと。

白石純一委員長

区長は普段から出してるわけじゃないですか。それとかぶってるということではない。

濱崎國治委員

行政に対する要望と議会に対する要望は若干違うと思うな。

白石純一委員長

それを把握して出してくいやったという感じですか。

竹原信一委員

あんまり違わないですよ。行政に対する要望を議員たちに持ってきただけの話が非常に多いですよ。ほとんどそんな感じじゃないですか、具体的なやつは。議会に注文するということを議会が実際の話が何するかといたら、別に権力を持ってないわけですからね。

濱崎國治委員

でも、やっぱり議員と語る会だから、いろんなのが出てきていいですよ。こげんとずいやというのも聞いて。

竹原信一委員

やっぱり議会として、議員として、根本的な話、一般市民の阿久根どうなるのとかね、その気持ちのところをどうやって反映させようとしてるのかって、そこを皆さんの気持ちを受け取る場にするのが本来の、

濱崎國治委員

全くそうだと思います。でも、あんまり大きなテーマで、具体的なテーマとともに、その他についてもいろいろ聞くわけですから、ほかに御意見ないですかって聞くわけですから、全くそういうのも出てきていいと思いますよ。

竹原信一委員

ないですかって来たときに答えられなきゃいけないくて、議会でちゃんとそこら辺について、議員同士の議論が深まりがあった上で市民の皆さんの御意見、考え方を一緒に考えて行きましょと、そういう場にすべきなんですね。それなしに、おまけみたいにそれを言っちゃいかんわけで、核心の部分はまさにそこなんですよ。

白石純一委員長

竹原委員おっしゃるように、普段から議会として市民の意見を聞かないといけないというのも確かだし、この前の委員会でも出ましたけれども、普段から議会に対してメールなり御意見をいただけるような場もこれから設けることも考えていかなきゃいけないと思います。今回の議員と語る会については、一般からは要らないだろうけど、区長から事前にテーマとしてもらいたいことを聞くということはやったほうがいいでしょうか。

竹原信一委員

受け取って、事前にそれをもむ会をつくってから本番に入らないといけないということですね。

白石純一委員長

それを二カ月くらい前に各議員、区長に聞くという方向でよろしいでしょうか。

(発言する者あり)

あればということで聞いてみるということでよろしいでしょうか。

(発言する者あり)

それではアンケートについては各区からあればということで事前に伺いということで御異議ありませんでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

異議なしと認め、そのように決しました。

次に報告・意見交換のテーマですが、どういった報告、あるいは意見交換のテーマがいかお聞かせください。

竹原信一委員

阿久根市の将来についてというのが一番肝心な部分で、私たちの、そして議会が、そして市民がどういうふうな気持ちで考え方で、態度で取り組んで、市と、見ていかないかんのかって、そういったところが本来はほしいんじゃないですかね。いつも細かい部分じゃなくて、根本的なところが議論、本来の、あんまり小さいことを知らんわけですよ、みんな、はっきり言って。

白石純一委員長

阿久根の将来というテーマになると、なかなか。

竹原信一委員

でもさ、それっていうのが一番議会が持ってなきゃいかんところじゃないですかね。

濱崎國治委員

さっきも言ったように、それぞれの項目について、議会からの報告という感じでやって、意見交換のときは市政・議会に対する意見要望ということで、大きな項目ですれば子育てについてこうだと思っけどどうかなとか、意見があればそれに対して話をすればいいんじゃないですか。

竹原信一委員

ていう、おまけ的な言い方ではなくて、阿久根の将来についてという言葉をちゃんと入れるべきだと私は思うんですよ。意見があればという話じゃなくて、一番根本的な核心の部分というのがまさにそこだと思うんですよ。それについていかがお考えでしょうか、皆さんの御意見をお伺いしたいですがっていう話。そして議員たちはどういうつもりで言ってるのかという深まりが出てくるはずなんですよ。だから言葉としてそれをちゃんと入れとかなないといけないはず。

濱崎國治委員

意見交換についてということで、前のときは報告に対する意見要望、各地域が抱える課題及びその解決策について、3、市政・議会に対する意見要望。だから3に将来にわたっての市政・議会に対する意見要望にする。

竹原信一委員

意見要望じゃあなくて、将来に対する考え方についてという話。

白石純一委員長

将来と言っても、3年先も将来だし30年先も将来だし100年先も将来です。

竹原信一委員

意見要望と言ったら、主体が市民じゃなくなるんですね。主体は市民なんです。市民自身が私たちのまちをどうするかっていうところを持つとかなきゃいけない、表現として意見要望ではなくて阿久根の将来についてという話にしないといけない。について議論しましょう。

白石純一委員長

まず報告について。

渡辺久治委員

西回り自動車道のサービスエリアというか道の駅について、商工会議所の陳情等には阿久根市も全員参加してやってるんですけど、その報告と市民の意見というのをぜひ。

白石純一委員長

西回り自動車道に関して、サービスエリアまたは道の駅構想、
(発言する者あり)
あと9月に公募をすると云ってるわけだから、国民宿舎跡地の、
(発言する者あり)

濱崎國治委員

国民宿舎はぜひやな。そうすれば阿久根高校跡地、
(発言する者あり)

白石純一委員長

去年から大きな、行政としての進捗はないですよというのも報告、
(発言する者あり)
今出てるのは、西回り自動車道道の駅構想、国民宿舎、阿久根高校跡地の三点です。
もう一点くらいでしょうね、せいぜい多くて。
(発言する者あり)
その三つでよろしいでしょうか。
[「はい」と呼ぶ者あり]
それ以外の意見交換のテーマをまた別途こちらから用意する。

濱崎國治委員

だから報告に対する意見もあるでしょうし、各地域が抱える課題とかあるでしょうし、その解決策というのは、各地域が抱える課題というのでとめとったほうがいいかも。

白石純一委員長

頻度として、こういうことをしたらよかんやんかですかっていうのを意見があるかもしれない。

竹原信一委員

阿久根の将来については。

白石純一委員長

阿久根市の将来についてどう思いますかって言ってもあまりにも漠然と、

仮屋園一徳委員

なかときはこっちから、

(発言する者あり)

白石純一委員長

将来について、人口問題についてどう思いますかとか、

(発言する者あり)

阿久根の将来というのはもちろん大きなテーマですけれども、全て阿久根の将来に関わってくるわけですから、その中でサブテーマを幾つか設けなくていいですか。例えば人口問題であるとか。

(発言する者あり)

竹原信一委員

阿久根の将来と言った場合に、実際は阿久根という名前ではなくて、皆さんは、気にしてるのは自分たちの暮らしなんですよね、本当は。それを阿久根という名前に変えてる。もしかしたら合併して阿久根という名前がなくなるかもしれないわけですよ。将来の市民の、私たちの暮らしについてというのが本質的なテーマだろうという気がしますよね。私たちの将来はどうなっていくのというほうがリアルじゃないかな。

(発言する者あり)

市民の、私たちの暮らしはどうなっていくのということを考えましょうよっていうのでテーマを、そういうふうに変えてもいいかな。阿久根の将来じゃなくて、将来の私たちの暮らしについてということのほうが。

(発言する者あり)

白石純一委員長

やはり竹原委員のような方は非常に漠然とした、あるいは哲学的なことも議論できると思うんですけど、一般の市民の方はなかなかテーマが大きすぎると、

竹原信一委員

でもさ、そこに来ているいろんな自分の将来につながる話ができたとすることは体験する必要があるんじゃないかな。小さな話をして不安感というかな、奥のほうに残ったままでは満足感は得られないし、取り組み方も見えない。

白石純一委員長

おっしゃるように将来の、阿久根の将来、自分たちの暮らしをよくするために、じゃあ具体的にはどういうことに取り組んでいかなきゃいけないんですか。人口をふやすためにはどうしたらいいですか。ふやすのは無理でも、減るスピードを抑えるためにはどうしたらいいと思いますかという具体的な問いかけがないとなかなか意見は出てこないと思います。

竹原信一委員

例えばですね、実は人口をふやすことがいいのかという話も根本なテーマになるわけですね。減っていくものをああとと思うだけのことになってしまいうんで、目標を人口をふやすとかなんとかではなくて、この状態で私たちが幸福感を得ていくにはどうなるかっていうのが本質的な問いかけ、あるいは議論のテーマになるべきじゃないかな。

白石純一委員長

おっしゃるとおり市民が幸福になるためのことなんだけど、じゃあ具体的にどういうことに取り組んだら。

濱崎國治委員

じゃあ人口減少についてということにすればいろんなのが出てくるじゃないですか。

竹原信一委員

人口減少というのを言葉に出すと、ふやすにはどうなるかのほうに走ってしまいますから、そういうことじゃなくて、幸福感をっていうような方向で。

濱崎國治委員

減少についてということで、今、将来の予測が出ているわけだから、そういうのをし

ていけばいいんですよ。

白石純一委員長

それを少しでも、そのスピードを遅くして人口が減っていく中でも、おっしゃるように市民が幸せを感じるためにはどういうことをしていけばいいですかということですね。

竹原信一委員

みんな外側ばかり見てて、金がたくさん入るよ、補助金をたくさんもらえれば、人口がふえればいいんだってという話、そんな感じでおるわけですよ。実際は幸福感はそれじゃないわけですよ。といなもんはといなもん同士で仲良くやっていけば、支え合っていけばそれでいいわけですよ。

白石純一委員

意見交換のテーマとして、こういうのはどうですか。阿久根の将来、阿久根の今後の暮らしについて人口減少の中でどのように各市民が幸せを得ていけるか。ちょっと推敲しますが、そういうあまりにも大きくないけれども中テーマくらいのサブテーマぐらいで。

(発言する者あり)

渡辺久治委員

それは一つのテーマとしていいかもな。

白石純一委員

ほかに御意見はございませんか。

濱崎國治委員

議論するにはえらい大きいなと思う。

(発言する者あり)

白石純一委員長

その中で、多分細かいことも出てくるとは思いますよ。

竹原信一委員

細かいところでやり取りみたいな話にならないようにしなきゃいけないですね、ほんとは。人口ふやす云々、そして金をたくさん、補助金をたくさんもらってきて配るみたいな発想はとっくの昔に終わっているのに、でもまだすがりつこうとする動きがありますよ。

(発言する者あり)

白石純一委員長

それでは、議会報告については西回り道・道の駅構想について、旧国民宿舎跡地について、阿久根高校跡地についての三点。意見交換のテーマについては、人口減少時代の中で阿久根の将来、人々の暮らしをどのようにして幸せを感じるものにしていくかというテーマで、内容については、

濱崎國治委員

委員長、それはちょっと短くしてください。

白石純一委員長

内容についてはまとめますので、の趣旨で意見交換ということで御異議ありませんでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

異議なしと認め、そのように決しました。

次に、配布資料について委員の皆様の見解を伺います。

報告内容については、その現状、阿久根高校跡地、国民宿舎、道の駅、現状を簡単にまとめて、

(発言する者あり)

ごく簡単に、いままでののはちょっと長すぎる、去年までは。より短くまとめるという

ことで、そのように決めます。

次にその他で、議員と語る会について委員から何かほかに御意見はありませんか。

竹原信一委員

だから今の深いテーマの話は議会、あるいは各班ごとでもいいですから、しっかりと議論をするなり、そして1回じゃなくて2、3回やってデータを集めないとな具体的なものがなしに、情報もなしに市民のところに行ったら失礼ですよ。

濱崎國治委員

だから、さっき区長に事前にするといったそれを検討するということで、意見交換の場ができるんじゃないかな。

仮屋園一徳委員

班編成が決まったときに、班長が決まったときに委員長でもいいし、そこで会の持って行き方とかそういう説明会みたいのをぜひしてほしいと思います。

白石純一委員長

班長と委員長の間でですか。

仮屋園一徳委員

あとは班長がその会を通じて自分の班でどれくらい議論をして会に臨むのか、やっぱり事前のあれが必要だと思います。ぜひそうしてほしいと思います。

竹原信一委員

ただ1回集まってじゃなしに、1回要望を集めてから、市民を怒らせて帰らせるような状況にならないように。

(発言する者あり)

白石純一委員長

班長会議を通じて事前に方向性をしっかりと意思統一して臨みたいと思います。

ほかになれば、ほかにございませんか。議員と語る会について。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

なければ、3、その他について、先に案内してありました議会広報研修会が8月23日に鹿児島市で開催されますので公用車で乗り合わせて行きたいと思います。午前10時に市役所北側駐車場に集合をお願いします。

このほか委員から何かありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

なければ以上で広報広聴委員会を散会いたします。

(散 会 15時16分)

広報広聴委員会委員長 白石純一